

従来の観光振興

観光 = (イコール)
個人的な遊びの価値

家族の絆、地域づくりを通じたアイデンティティの形成の価値は十分に評価されていなかった

従来型観光 従来型観光地

一斉休暇を利用した
短期駆け足型旅行

観光名所に頼った
メニューに乏しい
また画一的、変わり
ばえない国内観光地

外国人旅行者に
魅力を訴えてない
国内観光地

海外旅行者は増加
訪日旅行者増は低調

政策重要度の増加

小泉総理施政方針 演説(14.2.4)

「わが国の文化・
伝統や豊かな観光
資源を全世界に
紹介し、訪日外国
人旅行者の増加、
これを通じた地域
の活性化に取組み」

経済財政運営と構 造改革に関する基 本方針(14.6.25)

経済活性化戦略

「観光産業活性化・
休暇の長期連続化」
・個性ある日本の
魅力の国際PR
・地域の特性を活か
した観光地づくり
・経験型・目的達成
型観光産業育成
・休暇の長期連続化
分散化 等

平成15年度予算 重点分野

「国際観光振興など
特徴的なまちづくり」

観光を通じた交流が果たす重要な役割を見直し

- ・観光消費額の増加がもたらす大きな経済波及効果
- ・家族との語らいの機会
- ・学習・体験の機会、自己啓発の機会
- ・地域、日本の歴史、文化伝統の価値の見直し、誇りの構築

提言1. 「観光」から「観光交流」へ、役割・価値を見直して政策を推進

提言2. ワールドカップ大会開催を飛躍台に文化・観光大国へイメージを改革 訪日外国人旅行者誘致を強化

- ・効果的な外国マスメディアの活用等による宣伝、外客誘致強化
- ・文化・観光、交通宿泊施設の低廉化・多様化
- ・出入国手続きの円滑化 案内表示充実、ホスピタリティ向上

提言3. 休暇の長期連続化、分散化を通じた日本型長期家族旅行の普及定着

- ・長期(家族)旅行の意義の啓発 年次有給休暇取得を推奨
- ・学校の夏休みの一部を秋休み移行、地域ごとの分散を推奨
- ・環境教育・体験学習のメニューを充実

提言4. 国民のニーズの多様化に応えられる、地域の多様な資源を活用した 観光交流の空間づくりの推進

- ・既存ストックの観光資源への活用 景観形成の取組み
- ・自然体験型観光の促進 産業観光、グリーンツーリズムの普及

提言5. 観光振興に関する関係府省の施策の連携・協力の推進

観光交流を通じた地域の活性化、家族との絆、自分の住む地域・国との絆の再生により、元気な日本を再生